

事業実施による成果

直接的な効果（事業利用者の就職・創業）

〇2年間で200人の雇用を創出

【観光分野】

- ・体験型観光事業及びそれに付帯したレストランを開業（創業）併せて、インストラクターやホールスタッフとして事業利用者を含め16名採用（H19～20年度）
- ・ホーストレッキングインストラクターとして、乗馬倶楽部などの観光施設に18名採用（H19～20年度）

【農業分野】

- ・加工技術を学び農園カフェに1名採用、障害者の従業員への職業指導や週替わりメニューの提供に携わる（H20年度）

波及的な効果

- 当事業により育成した人材の活用により、
 - ・「おいらせ餃子」など地域の農産物を活用した商品開発によるメニューの提供及びネットショップによる販路拡大
 - ・「十和田バラ焼き（※）」という地域の食文化によるまちおこしへのきっかけを得る
※ 牛のバラ肉とたまねぎを鉄板で焼く料理（下記写真参照）
 - ・体験型観光など着地型旅行商品開発による誘客の促進
→ 地域の活性化により雇用が拡大！
- 当事業の終了後も、積極的に国の支援事業を活用し、専門的な人材育成や創業支援などの実施を検討中

地域の声

協議会の声

- パッケージ事業は、地方の自主的・独創的な取り組みを支援する大変有効な制度です。事業を通じて、地域産業の活性化について地域内の連携意識の向上が図られるとともに、雇用創出に向けての人材育成の必要性を改めて実感することができました。

事業所の声

- 体験型観光ビジネス企業にあたり、トータルプランニングに関する研修メニューの組み立てがよく、とても勉強になりました。
- 研修を通じて地元素材の良さの再確認や地域への愛着が高まるようになり、地域にとって大変有意義な事業です。

求職者の声

- 十和田市の馬との関わりや歴史についても深く学ぶことができ、就職に大変役立ちました。
- 東京からUターンしてこの事業を受講し就職しました。地方では実践に役立つ研修が少ないので、有効な支援策であり、就業啓発の観点からも実のある事業です。



乗馬の光景



十和田バラ焼き

現在十和田市内では **60店以上**

の飲食店がバラ焼きを提供し、
またお店だけでなく、
家庭でも親しまれています。

パッケージ事業実施事例～地域の提案、創意工夫による雇用対策の実施～

京都府和束町

茶産業を核とした新たな産業興しによる雇用創出「行ってみたい茶源郷づくり」(平成19年度～21年度)

概要

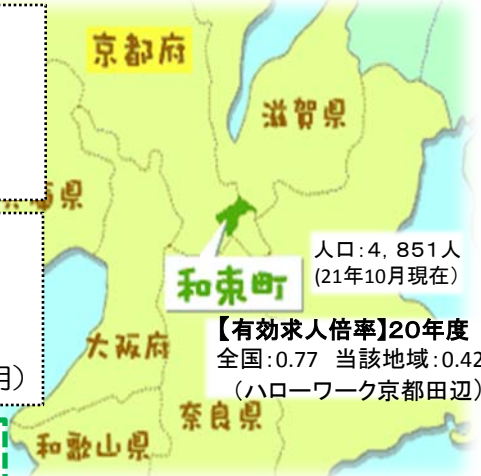
基幹産業である茶産業を核とし、これに観光産業や特産品開発、コミュニティビジネスなどを連携させながら、域内の産業振興を図る取組みを担う人材の育成等を実施し、地域の雇用機会の拡大を目指す。

雇用をめぐる地域の課題

- JAPANブランドの「宇治茶の主産地」でありながら、「和束茶」としてのブランド力は低く、人口減少と少子高齢化により後継者も不足
- 茶の流通形態が単一化しており、新しい流通経路の開拓が必要であるが、そのノウハウを持った人材が不足
- 町域の約75%が山林で平地が少なく、大規模農業経営は難しく、また企業誘致も困難

地域の産業振興等の取組み

- 茶を使用した加工食品などの特産品づくり（新商品の開発）
- 茶畑景観や茶摘み体験など着地型の体験観光と情報発信拠点としての物販飲食施設「和束茶カフェ」づくり（観光産業の創出）
- 宇治茶の郷としての「和束茶ブランド」の確立（ブランド力の強化）
- 生産者の顔・生産履歴の見える茶産業と多角的な販売の促進（オンライン販売など！T活用）



「茶源郷プロジェクト」～「飲む」お茶から「見て」「食して」「楽しむ」お茶へ～

パッケージ事業の実施

実施体制

和束町、商工会、農業協同組合、NPO等で雇用促進協議会を構成

①雇用拡大メニュー（事業主向け）

- 製茶業者の経営・販促スキルの強化事業（農業経営支援研修、販売企画力開発研修）
- 製茶業における雇用確保に向けたノウハウ取得事業

②人材育成メニュー（求職者・在職者向け）

- 茶産業の新規ビジネス創出、茶の多角的な販売を促進する人材の育成
- 町内における物販・飲食施設「和束茶カフェ」の担い手育成研修
- 茶を活用した交流人口拡大事業としての体験プログラム・農家民泊の担い手育成研修
- 海外に向けた「和束茶」をオンラインで販売できる人材の育成
- 起業・創業基礎研修

③就職促進メニュー（求職者向け）

- 和束茶製茶業入門研修
- 就職支援システムの導入
（協議会ホームページを活用し、求職者へ製茶業等の求人情報提供するシステム）



事業拡大や新事業展開等の支援を通じて、地域の雇用機会を拡大！



地域で求められる人材を育成！



茶業繁忙期の人材確保等を支援！

事業実施による成果

直接的な効果（事業利用者の就職・創業等）

- 事業利用者の就職・創業 2年間で55名
 - ・茶生産農家で後継者づくりの一環として採用
 - ・「和束茶カフェ」のスタッフとして採用
 - ・抹茶を使用した新たな飲料品（抹茶スイーツ粉末飲料）を開発し、和束茶カフェで販売するとともに、ネットショップを開設・販売（創業）など
- セミナーを受講した事業主や従業員の方が、
 - ・製茶の個人事業主が機械化を進め、株式会社へ事業を拡大
 - ・製茶業者が、和束茶のネット販売や海外取引を開始（中国などにも視察）
 - ・和束茶カフェの在職スタッフが受講し、学んだノウハウを活かして活躍など

波及的な効果

- 【町の情報発信拠点「和束茶カフェ」の育成】
製茶業者の販路拡大、特産品の開発・販売、地域住民や域外の方々の交流・情報交換の拠点として平成19年度にスタート。地域のキーステーションとして着実に育ってきている。さらに、ここに商品を提供する起業・創業者も生じている。
- 【地域コミュニティの再生、地域の活性化】
本事業のセミナー受講等を通じて、既存のNPOや住民グループ等の団体が協力し合い、また新たに特産品を開発するグループが組織され活躍するなど、地域住民の活躍する場が増大し、地域コミュニティの再生と町全体の活性化に繋がっている。
- 【更なる観光・交流事業の展開】
平成23年度から本格開始する小学生等を対象とした「子ども農山漁村宿泊体験交流事業」（文科・農水・国土3省による事業）の受け入れ先地域を目指して、パッケージ事業と関連する実現事業などの取組みにより、その基盤整備が整いつつある。

地域の声

協議会の声

- パッケージ事業で育成した人材が活躍できる場所をさらに提供できるよう、関連する実現事業では、そのノウハウを生かしたアクションプランとマーケティングを行い、雇用基盤の一層の充実に取組む考えです。

事業所の声

- 研修内容は、和束茶の海外販売やブランド力強化など私の現在の取組みと合致するものであり、非常に有益で、今後の事業活動に寄与するものです。
- パッケージ事業の受講等によって、新たな新商品の開発に取り組むことができました。

求職者の声

- 当該研修を受講したおかげで停滞していた特産品づくりが飛躍的に進み、企業との商取引も成立し、グループとして創業できました。
- 当該研修を受講したおかげで現職に就職することができました。更に自己研鑽を積み、将来は起業を目指したいと思います。

和束茶ブランド



だんご三姉妹
(煎茶、ほうじ茶、抹茶)



セミナーの光景

